

III 資料

平成21年度 男女共同参画キャリアデザインラボラトリー活動記録

2009年4月1日	男女共同参画キャリアデザインラボラトリー(以下CDL)ミーティング
2009年4月7日	CDLミーティング
2009年4月8日	男女共同参画キャリアデザインラボラトリー会議
2009年4月10日	・高校校長協会総会にて、出前実験の広報(参加:池本、長谷部、糸野) ・授業「理系のジェンダー学」① ガイダンス 糸野妙子 男女共同参画キャリアデザインラボラトリー
2009年4月14日	CDLミーティング
2009年4月17日	授業「理系のジェンダー学」② 糸野妙子 男女共同参画キャリアデザインラボラトリー
2009年4月20日	研究パートナー(平成21年度前期) 採用開始
2009年4月21日	CDLミーティング
2009年4月24日	授業「理系のジェンダー学」③ 池本良子 理工学域環境デザイン学類
2009年4月28日	・CDLミーティング ・人材バンク会議
2009年4月30日	女子中高生向け理工系広報誌「Happy Technology」打ち合わせ
2009年5月1日	・人材バンク運用開始 ・授業「理系のジェンダー学」④ 糸野妙子 男女共同参画キャリアデザインラボラトリー
2009年5月8日	授業「理系のジェンダー学」⑤ 糸野妙子 男女共同参画キャリアデザインラボラトリー
2009年5月12日	CDLミーティング
2009年5月14日	研究パートナー追加募集開始(締切5/22)
2009年5月15日	・講演会「先輩に学ぶ女性研究者支援 ～名古屋大学の取り組みから～」 ・授業「理系のジェンダー学」⑥ 伊藤由起、荒井礼子 名古屋大学男女共同参画室 ・女子中高生向け理工系広報誌「Happy Technology」打ち合わせ
2009年5月20日	人材サロンWIL茶話会「育児について話しましょう」開催
2009年5月22日	授業「理系のジェンダー学」⑦ 都野展子 理工学域自然システム学類
2009年5月25日	富山大学男女共同参画啓発講演会「輝け！女性研究者」(参加:松並)
2009年5月26日	CDLミーティング
2009年5月27日	女子中高生向け理工系広報誌「Happy Technology」撮影打ち合わせ
2009年5月28日	金沢大学教職員組合女性部にてキャリアデザインラボの活動紹介
2009年5月29日	・サロンWIL茶話会「育児について話しましょう」開催 ・授業「理系のジェンダー学」⑧ 伊藤数子 株式会社パステルラボ
2009年5月28～29日	女子中高生向け理工系広報誌「Happy Technology」撮影&インタビュー
2009年6月2日	CDLミーティング
2009年6月3日	財団法人いしかわ女性基金「女性人材バンク」視察・ヒアリング
2009年6月4日	金沢市主催人権問題講演会「ドメスティック・バイオレンスのない地域社会」参加:松並
2009年6月5日	授業「理系のジェンダー学」⑨ 坂口綾 広島大学理学研究科
2009年6月9日	CDLミーティング
2009年6月12日	・女子中高生向け理工系広報誌「Happy Technology」編集会議 ・授業「理系のジェンダー学」⑩ 長谷部徳子 環日本海域環境研究センター
2009年6月16日	CDLミーティング
2009年6月17日	授業「ジェンダー学入門」講師:松並
2009年6月19日	授業「理系のジェンダー学」⑪ 石田桂 信州大学理学部
2009年6月22日	・週刊センターニュースNo.264(大学教育開発・支援センター発行)へ活動紹介記事を掲載 ・女子中高生向け理工系広報誌「Happy Technology」校正打ち合わせ
2009年6月23日	CDLミーティング
2009年6月24日	女子中高生向け理工系広報誌「Happy Technology」編集会議
2009年6月25日	大学教育開発・支援センター第235共同学習会 「男女共同参画キャリアデザインラボラトリー活動紹介および事業概要」

2009年6月26日	授業「理系のジェンダー学」⑫ 金沢大学博士研究員(SS)中木原江利・博士後期課程 金山恭子
2009年6月27日	石川県女性センター「男女共同参画のつどい」参加:松並・糸野
2009年6月30日	CDLミーティング
2009年7月3日	・授業「理系のジェンダー学」⑬ 室内良隆 アドバンスマテリアルジャパン株式会社 ・女子中高生向け理工系広報誌「Happy Technology」撮影打ち合わせ
2009年7月7日	・学生対象ランチオン・セミナー「働きやすい職場をめざして～キャリアデザインラボの取り組み～」-松並 ・CDLミーティング
2009年7月8日	講演会「女性研究者を養成するしくみ～プリンストン大学からの提言2～」講師:柴田智子
2009年7月9日	北陸中日新聞に「米国の現状を交え助言 プリンストン大柴田講師が提言女性研究者を支援」掲載
2009年7月10日	授業「理系のジェンダー学」⑭ 塩田澄子 就実大学薬学部
2009年7月13日	女子中高生向け理工系広報誌「Happy Technology」撮影打ち合わせ
2009年7月15日	女子中高生向け理工系広報誌「Happy Technology」校正
2009年7月16～17日	女子中高生向け理工系広報誌「Happy Technology」再撮影
2009年7月17日	授業「理系のジェンダー学」⑮ 糸野 男女共同参画キャリアデザインラボラトリー
2009年7月21日	CDLミーティング
2009年7月22日	女子中高生向け理工系広報誌「Happy Technology」編集会議
2009年7月23日	女子中高生向け理工系広報誌「Happy Technology」編集会議
2009年7月24日	・女子中高生向け理工系広報誌「Happy Technology」校正締切 ・里山KIDS ROOM「先生と一緒に角間の里山で生物・植物を観察しよう!!」打ち合わせ
2009年7月28日	CDLミーティング
2009年7月31日	大学祭女子学生写真展打ち合わせ:展示パネル
2009年8月3日	・里山KIDS ROOM(自然観察会) 下見 ・CDLミーティング ・大学祭女子学生写真展(配布リーフレット)打ち合わせ
2009年8月5日	・里山KIDS ROOM「先生と一緒に角間の里山で生物・植物を観察しよう!!」 ・オープンキャンパス用展示パネル設置
2009年8月6～7日	オープンキャンパスにてパネル展示・女子学生向け進路相談窓口設置
2009年8月6日	SSIについてミーティング
2009年8月7日	研究パートナー(後期分)募集開始(締切8/28)
2009年8月24日	大学祭 チラシ・リーフレット打ち合わせ
2009年8月25日	CDLミーティング
2009年8月26～28日	日本心理学会ジェンダー部門にて、女性研究者の現状に関するインタビュー調査について発表および、ジェンダー関連のセミナーに参加(松並)
2009年9月1日	・女子中高生向けWeb相談窓口開設 ・CDLミーティング
2009年9月3日	人材バンクの広報打ち合わせ
2009年9月7日	優秀若手女性研究者 募集開始(締切9/11)
2009年9月13日	サテライトプラザ・ミニ講演実施「女子中高生向け理系進学説明会」担当:長谷部
2009年9月14日	人材サロンWIL(キャリアカウンセリング)のセミナー打合せ
2009年9月15日	山形大学男女共同参画推進室(木村先生、坂無先生) 金沢大学にて意見交換会
2009年9月29日	CDLミーティング
2009年10月2日	授業「ジェンダー学実践編」① 松並知子 男女共同参画キャリアデザインラボラトリー
2009年10月7日	第7回男女共同参画学協会連絡会シンポジウム ポスター発表(参加:糸野)
2009年10月9日	授業「ジェンダー学実践編」② 松並知子 男女共同参画キャリアデザインラボラトリー
2009年10月16日	・授業「ジェンダー学実践編」③ 杉田真衣 人間社会研究域学校教育系 ・大学祭リーフレット打ち合わせ ・出前実験打ち合わせ(伏見高校)
2009年10月19日	大学祭写真パネル用 撮影
2009年10月20日	CDLミーティング

2009年10月21日	出前実験:石川県立金沢伏見高等学校
2009年10月22日	・大学祭リーフレット打ち合わせ ・大学祭写真パネル打ち合わせ
2009年10月23日	・出前実験:石川県立七尾高等学校 ・授業「ジェンダー学実践編」④ 高橋涼子 人間社会研究域人間科学系
2009年10月29日	・合同シンポジウム発表要旨送付 ・大学祭写真展パネル納入
2009年10月31日	・大学祭写真展準備 ・名古屋大学シンポジウム「女性研究者のキャリア深化のためのシステム改革」ポスター発表参加(松並) ・授業「ジェンダー学実践編」⑤ 古畑徹 人間社会研究域歴史言語文化学系
2009年11月1日	2009年度ふれてサイエンス&てくてくテクノロジー「Beauty in Science, Technology and Engineering」女性研究者実験ブース&女子学生写真展
2009年11月2日	優秀若手女性研究者採用&新規事務スタッフ採用
2009年11月4日	出前実験:石川県立羽咋高等学校
2009年11月5日	・出前実験:石川県立金沢西高等学校 ・CDLミーティング
2009年11月6日	授業「ジェンダー学実践編」⑥越堂静子 Working Women's Network代表
2009年11月7日	公開講座「自分らしさ発見・再発見」(担当:松並)
2009年11月9日	第2回金沢大学女性研究者支援シンポジウム「女性研究者のキャリア継続～社会・制度・パートナーの役割」
2009年11月10日	・ふれてサイエンス&てくてくテクノロジー写真展 学長賞授与式 ・北國新聞に「女性研究者の支援制度探る 上野東大院教授講演」が掲載
2009年11月13日	・授業「ジェンダー学実践編」⑦ 綿引伴子 人間社会研究域学校教育系 ・富山大学女性研究者育成講演会「理工系女性研究者のキャリアパスについて考える」-参加:糸野
2009年11月14日	公開講座「自分らしさ発見・再発見」(担当:苗田・糸野)
2009年11月17日	CDLミーティング
2009年11月20日	・出前実験:石川県立金沢伏見高校 ・授業「ジェンダー学実践編」⑧ 堀井祐介 大学教育開発・支援センター
2009年11月25～26日	女性研究者支援システム改革プログラム 事業合同シンポジウム「女性研究者支援の新時代を迎えて」(参加:八重澤・松並・糸野)
2009年11月27日	授業「ジェンダー学実践編」⑨ 森山奈美 株式会社御祓川 代表取締役
2009年11月28日	公開講座「自分らしさ発見・再発見」(担当:八重澤)
2009年11月30日	金沢大学薬学同窓会会報「薬友会誌第56号(2009年号) WEB限定版」に金沢大学人材バンク広告を掲載
2009年12月1日	・CDLミーティング ・千葉大学第4回シンポジウム「千葉大学における男女共同参画～次のステップに向けて～」にポスター提供
2009年12月4日	授業「ジェンダー学実践編」⑩ 塚原久美 金沢大学非常勤講師
2009年12月8日	新潟大学第2回シンポジウム「～キャンパスシッターによる育成・支援プラン～ 女性研究者が活躍できる大学をめざして」にポスター提供
2009年12月9日	文教速報第7384号に11/9第2回シンポジウムの記事(「金沢大、女性研究者支援シンポジウムを開催」)が掲載
2009年12月11日	授業「ジェンダー学実践編」⑪ 杉橋やよい 人間社会研究域経済学経営学系
2009年12月15日	CDLミーティング
2009年12月16日	人材サロンWIL キャリアセミナー「将来について考えてみませんか?」(講師:神崎淳子)
2009年12月18日	授業「ジェンダー学実践編」⑫ 大藪加奈 外国語教育研究センター
2009年12月31日	優秀若手女性研究者 退職(他大学へ異動)
2010年1月8日	授業「ジェンダー学実践編」⑬ 石原多賀子 北陸大学未来創造学部
2010年1月12日	CDLミーティング

2010年1月15日	<ul style="list-style-type: none"> ・金沢駅もてなしドームにて女性研究者の研究紹介ポスター展(～1/31まで) ・北國新聞(夕刊)に金沢駅でのポスター展について記事が掲載 ・ケーブルテレビで金沢駅でのポスター展を紹介
2010年1月16日	北國新聞(朝刊)に「金大の女性研究者の活動紹介 金沢でポスター展」が掲載
2010年1月18日	<ul style="list-style-type: none"> ・優秀若手女性研究者 採用 ・金沢市主催 仕事と家庭の両立セミナー(参加:松並、糸野)
2010年1月22日	授業「ジェンダー学実践編」⑭ 菅村 美知子 ジェンダーイコリティ金沢きらめき'S
2010年1月26日	<ul style="list-style-type: none"> ・CDLミーティング ・北陸中日新聞に「理工学に女性進出して 研究者ポスター展金大が呼び掛け」が掲載
2010年1月29日	授業「ジェンダー学実践編」⑮ 松並知子 男女共同参画キャリアデザインラボラトリー
2010年1月31日	金沢駅もてなしドームポスター展 最終日
2010年2月2日	CDLミーティング、キャリアカウンセリング打合せ
2010年2月3日	九州大学女性研究者キャリア開発センター第1回セミナー「女性のキャリアと研究開発」(参加:松並、糸野)
2010年2月4日	九州大学意見交換会(参加:松並、糸野)
2010年2月10日	人材サロンWIL「就活・キャリア相談@南地区」①
2010年2月16日	人材サロンWIL「就活・キャリア相談@南地区」②
2010年2月17日	<ul style="list-style-type: none"> ・東京農工大学 意見交換会 ・人材サロンWIL「就活・キャリア相談@南地区」③ ・西高校研究発表会(参加:長谷部)
2010年2月23日	人材サロンWIL「就活・キャリア相談@南地区」④
2010年2月24日	育児休業についてインタビュー
2010年3月2日	人材サロンWIL「就活・キャリア相談@南地区」⑤
2010年3月3日	CDLミーティング
2010年3月6日	岡山大学男女共同参画推進国際シンポジウム「世界は今、そして未来は一男女共同参画推進国際シンポジウム」にポスター提供
2010年3月9日	<ul style="list-style-type: none"> ・北海道大学 意見交換会 ・人材サロンWIL「就活・キャリア相談@南地区」⑥ ・研究パートナー・優秀若手女性研究者支援(平成22年度前期)募集開始(締切3/19)
2010年3月10日	ジェンダー学の授業担当者のための勉強会(講師:森永康子)
2010年3月11日	第8回男女共同参画推進委員会
2010年3月12日	CDLミーティング

新聞等 掲載記事

・2009年7月8日実施「女性研究者を養成するしくみ プリンストン大学からの提言2」
2009年7月9日 北陸中日新聞

米国の現状交え助言

プリンストン大 女性研究者を支援 金 大
米 国 際 研 究 者 会 議 中 国 代 表 団 長 柴 田 智 子 氏 が 提 言 した。



女性研究者支援の行方について話す
柴田さん―金沢市角館町の金沢大で

女性研究者の働きや「める会」大で8日、米 柴田智子さんが講演
すい環境づくりを進め、プリンストン大講師の
し、アメリカの現状を
踏まえて女性研究者支
援の在り方を提言し
た。

柴田さんの講演は、
今年三月に続いて二回
目。教職員や学生の約
四十人が参加した。

柴田さんは、プリン
ストン大では子どもを
保育園に預ける場合の
奨学金補助や、就学助成
金を充実させているこ
となどを説明。米の他
大学でも、男女平等に
向けた取り組みが進め
られていると紹介し
た。

また、女性研究者も
職場の同僚と連携し
ながら、働きやすい環
境づくりを目指す必要

があることなどを指摘
した。

講演は、女性研究者
支援の充実を図るた
め、金沢大が進めるフ
ロジェクトの一環。同
大は二〇一一年まで
に、女性研究者の割合
を現在の14.5%から
16%に高める目標を掲
げている。

(本記事参照)

・2009年11月9日実施

「第2回金沢大学女性研究者支援シンポジウム

女性研究者のキャリア継続 ～社会・制度・パートナーの役割～

① 2009年11月10日 北國新聞

②2009年12月9日 文教速報第7384号

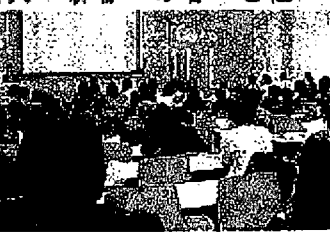
**女性研究者の
支援制度探る**
上野千鶴子教授講演
第2回金大女性研
究者支援シンポジウムは
9日、同大角間キャン
パスで約140人が参
加して開かれ、女性研
究者のキャリア継続を
支える制度のあり方を
探った。

中村信一学長があい
さし、上野千鶴子東大
教授が「女性研
究者のキャリア継続」をこ
のシンポジウムは、文科省科学技術振興調整費「女性研究者
支援モデル育成」事業の女性研究者支援にかかる広報啓発活動の
一環として企画したもので、学内外から約百五十名が参加した。
中村信一学長の挨拶後、東大の上野千鶴子教授が「女性研究者
の生存戦略」、内閣府男女共同参画局の大西知子企画官が「女性研
究者の活躍を目指して」と題して、それぞれ講演した。
また、同大男女共同参画キャリアデザインラボラトリー長の八
重澤美知子教授が、同大の女性研究者支援策
を紹介し、人間社会研究域の古畑 徹教授と
理工研究域の坂本敏夫准教授が女性研究者
とパートナーとする立場からレポートを発表した。
参加者は、女性研究者を取り巻く環境を、男女共同参画を推進す
るための今後の支援策のあり方について知見を深めていた。



中村信一学長が挨拶する様子

金沢大、女性研究者支援シンポジウムを開催
金沢大学は、二回目となる女性研究者支援シンポジウム「女性
研究者のキャリア継続～社会・制度・パートナーの役割～」をこ
のほど同大角間キャンパスで開催した。
このシンポジウムは、文科省科学技術振興調整費「女性研究者
支援モデル育成」事業の女性研究者支援にかかる広報啓発活動の
一環として企画したもので、学内外から約百五十名が参加した。
中村信一学長の挨拶後、東大の上野千鶴子教授が「女性研究者
の生存戦略」、内閣府男女共同参画局の大西知子企画官が「女性研
究者の活躍を目指して」と題して、それぞれ講演した。
また、同大男女共同参画キャリアデザインラボラトリー長の八
重澤美知子教授が、同大の女性研究者支援策
を紹介し、人間社会研究域の古畑 徹教授と
理工研究域の坂本敏夫准教授が女性研究者
とパートナーとする立場からレポートを発表した。
参加者は、女性研究者を取り巻く環境を、男女共同参画を推進す
るための今後の支援策のあり方について知見を深めていた。



熱心に聞き入る参加者

③ 2009年12月7日 文教ニュース 第2064号

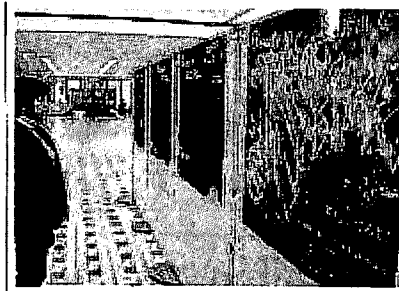


学内外から約150名が参加
し、人間社会研究域古畑徹教授と理工研究域坂本敏夫准教授が女性研究者をパートナーとする立場からレポートを発表した。

金沢大学は、11月9日に「第2回金沢大学
女性研究者支援シンポジウム・女性研究者の
キャリア継続～社会・制度・パートナーの役
割～」を同大角間キャンパスで開催した。文
部科学省科学技術振興調整費「女性研究者支
援モデル育成」事業の女性研究者支援にかか
る広報啓発活動の一環として企画したもので、
学内外から約150名が参加した。中村学長
のあいさつの後、東京大学の上野千鶴子教授
が「女性研究者の生存戦略」、内閣府男女共
同参画局の大西知子企画官が「女性研究者の
活躍を目指して」と題して講演を行った。ま
た同大男女共同参画キャリアデザインラボラ
トリー長の八重澤美知子教授が同大の女性研
究者支援策を紹介し、人間社会研究域古畑徹
教授と理工研究域坂本敏夫准教授が女性研
究者をパートナーとする立場からレポートを
発表した。

・2010年1月15～31日 女性研究者の研究紹介ポスター展示

① 平成22年1月15日 北國新聞(夕刊)



◇金大の理工系女性研究者の研究を紹介するポスター展が15日、金沢駅もてなしドーム地下広場で始まった。

◇展示は理工系を自指す女性を増やそうと、研究に親しみを持ってもらおう狙いで企画され、研究者20人が参加した。

◇ポスターには泥の中の堆積物が放つ光など研究の中で感じた「美の一瞬」が描かれ、通行人の注目を集めていた。31日まで。

② 平成22年1月16日 北國新聞(朝刊)

金大の女性研究者の活動紹介

金沢でポスター展

金大の理工系女性研究者の活動を紹介するポスター展は15日、金沢駅もてなしドーム地下広場で始まり、研究の中で女性の視点にとらえた「美の一瞬」を伝えている。

展示は女性に理工系分野への親しみを深めてもらうため企画され、研究者20人が参加した。泥の中の堆積物が光を放つ様子やモングルの湖で採取した水の結晶などを写したポスターが通行人らの注目を集めた。31日まで。

③ 平成22年1月26日 北陸中日新聞

理工学に女性進出して

研究者ポスター展 金大が呼び掛け



「美の一瞬」のポスターが並ぶ会場＝JR金沢駅もてなしドーム地下広場で

金沢大の女性研究者が研究の中でとらえた「美の一瞬」を紹介するポスター展が、JR金沢駅もてなしドーム地下広場で開かれている。三十一日まで。

理工学への興味を広げ、女性の理系分野への進出を促進しようとして、同大男女共同参画キャリアデザインラボラトリーが企画。日本は諸外国と比較して理

工系分野の女性研究者が少なく、同大でも理

工系の教授は三人と多くないという。会場には、同大の女性研究者支援の取り組みを紹介するパネルも設置した。

ポスターは二十点展示。「湖底の泥からの光」や「地球のひび割れ模様」「環境へ適応した特殊な形態進化」といった題名の写真が並び、通りがかった人が興味深そうに見ていた。

(奥野斐)

週刊センターニュース No.264

Center
Research
Higher
Education
Evaluation
Student
Support
System

第264号(2009年6月22日) 毎週月曜日発行
発行: 金沢大学 大学教育開発・支援センター
URL: http://www.kanazawa-u.ac.jp/faculty/daikyou_rche/index.htm

○●○ 第235回共同学習会のご案内 ○●○

日時: 6月25日(木) 16時30分~18時

会場: 角間キャンパス総合教育1号館1号館2階 会議室

報告者: 松並知子、糸野妙子(男女共同参画キャリアデザインラボラトリー)

テーマ: 「男女共同参画キャリアデザインラボラトリー活動紹介~女性研究者支援プログラム概要~」

趣旨: 本学は平成20年度から3年間、文部科学省科学技術振興調整費<女性研究者支援モデル育成>に採択され、「やる気に応えます 金沢大学女性研究者支援」プログラムを進めている。本プログラムは、女性が積極的に研究を継続し、成果を上げることができるような環境を整備することや、次世代の女性研究者を魅了し育成することを目的としている。プログラムの実施にあたり、昨年10月に男女共同参画キャリアデザインラボラトリーが設置された。

本プログラムの目的や事業内容、および、男女共同参画キャリアデザインラボラトリーの活動内容について具体的に説明することにより、教職員の方々の認知と理解を深めたい。また、この機会に、本事業や当ラボに対する皆様のご意見やアドバイスをいただきたい。

○●○ 第12回大学評価研究会のご案内 ○●○

日時: 6月30日(火) 15時30分~17時 ※開催曜日にご注意ください。

会場: 角間キャンパス 総合教育1号館2階会議室

テーマ: 「昨今の高等教育政策の動向とSD機能強化の方向性」

報告者: 早田 幸政氏(大阪大学 大学教育実践センター教授)

趣旨: 中教審「学士課程教育の構築に向けて(答申)」を受けて、大学改革は、新たな段階に突入しようとしている。大学教育の質保証の仕組みは、設置認可行政と認証評価との連結を図るという視点から、抜本的な変革が模索されている。大学教育の基本を「学位プログラム」中心の考え方に転換するという観点から、学部制度や教員組織の在り方に対してもドラスティックな見直しの兆候がうかがえる。こうした大学を取り巻く制度・環境の大きな変化が予兆される中、大学職員への期待も高まりつつあり、この問題に対し、上記答申も、注目すべき提言を行った。本報告では、将来に亘る大学マネジメントの重要性が説かれる昨今の状況を認識の基礎に、SD機能強化の方向性についても言及したい。

○●○ 男女共同参画キャリアデザインラボラトリー活動紹介 ○●○

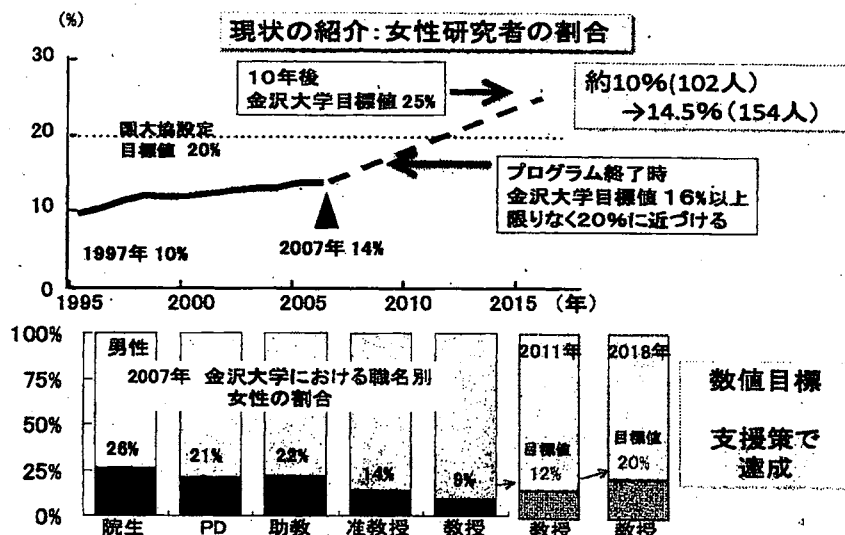
本学は、平成20年度から3年間、文部科学省科学技術振興調整費<女性研究者支援モデル育成>に採択され、「やる気に応えます 金沢大学女性研究者支援」プログラムを進めている。本プログラムは、女性研究者支援策を積極的に展開し、女性研究者数、女性リーダーを増やすとともに、女性が生き生きと活躍できる男女共同参画を実現する支援モデルの開発、研究環境・制度の整備、および、啓発・広報活動を行うものである。事業の実施にあたり、平成20年10月に男女共同参画キャリアデザインラボラトリーが設置された。

1. 女性研究者数

最近約10年間における金沢大学の女性研究者数は約10% (102人) から14.5% (154人) と微増傾向にある。しかし、職階別では、平成19年度時点、博士後期課程大学院学生(26%)に比べ、助

教(22%)、教授(9%)と職階を追う毎に割合は低くなり、採用・昇任の際に、女性にとって越えがたい障壁が生じていることが考えられる。また分野別では、理工系研究者が6.7%と他分野と比べ際立って少ない。本事業実施期間終了時における具体的な数値目標は以下の通りである。

- ①女性研究者数を現在より10人程度増やし、全体の割合を約16%にまで上昇させる。
- ②理工系女性研究者数を8%に増加させる。
- ③助教・准教授の昇格を増やし、教授職の女性の割合を12%とする。



2. 具体的な取り組み

①人材サロン WIL (Women-in-Link) の運営

- ・金沢大学人材バンクの作成・運営

目的：育児・介護休業取得に際しての人材の補充、研究パートナー（女性研究者へのサポートイング・スタッフ）の派遣、小中高校への出前実験のために講師・スタッフの募集、イベントのスタッフやボランティアの募集

- ・各種セミナーやキャリアカウンセリングの実施
- ・女性向け・ジェンダー関連書籍やDVDの貸出
- ・情報交換の場の提供

②広報・啓発活動

- ・ジェンダー関連講義の実施（「理系のジェンダー学」「ジェンダー学実践編」公開講座）
- ・講演会・研究会・イベントの実施
- ・ホームページの作成・運営
- ・教職員対象の意識調査
- ・女子中高生を主な対象とした理系進路選択支援

③職場環境・制度の整備

- ・里山活動を利用した保育支援「里山 KIDS ROOM」の運営
- ・育児・介護休業の取得が容易になるプランの構築

④多様なキャリアパスの創出

- ・研究パートナー制度：育児・介護等に多忙な女性研究者に対し、研究の補助を行う研究パートナーを派遣している。研究者の卵であるパートナーは、女性研究者をロールモデルとすることができるため、研究者・パートナー双方にとっての支援となっている。
- ・Skilled Specialist (SS)：従来のカテゴリーに入らない安定的な研究者ポストとして、分析やデータ解析等のスペシャリストである博士学位取得者を2名、採用した。

以上のように、男女共同参画キャリアデザインラボラトリーの活動は多岐にわたっているが、いずれの活動も教職員の方々のご意見やアドバイス、ご協力なくしては実現できないものなので、ぜひとも皆様の力を貸していただきたい。皆様のご期待に添えるよう、スタッフ一同、精一杯努力する所存である。

ラボラトリー長 八重澤美知子、プロジェクトオフィサー 松並知子・糸野妙子

電話：076-234-6905～7 FAX：076-234-6908

E-Mail：cd_lab@ad.kanazawa-u.ac.jp、ホームページ：<http://cdl.w3.kanazawa-u.ac.jp/>

場所：角間キャンパス南地区の自然科学本館1階、191号室（自然科学系図書館付近）

金沢大学Web広報誌 e-Acanthus に掲載された記事

男女共同参画に関するセミナーを開催

2009年5月15日

5月15日、自然科学本館102講義室で「先輩に学ぶ女性研究者支援～名古屋大学の取り組みから」と題してセミナーが開催され、長野理事や櫻見理事など約30名が参加しました。

名古屋大学男女共同参画室の特任教員である荒井礼子、伊藤由起の両氏が講師となって平成19年度から女性研究者支援モデル育成事業を推進している同大学の、特徴ある取り組みについて説明し、引き続き意見交換を行いました。

参加者は、学内学童保育やポジティブアクションといった様々な男女共同参画推進の取り組みがあることを認識するとともに、地域の実情に応じた施策のあり方や組織運営の実務的な内容等について活発に話し合いました。



アメリカの女性研究者支援に関する講演会を開催

2009年7月8日

7月8日(水)、本部事務局6階大会議室で、アメリカの女性研究者支援に関する講演会「女性研究者を養成するしくみ ～プリンストン大学からの提言2～」が開催されました。

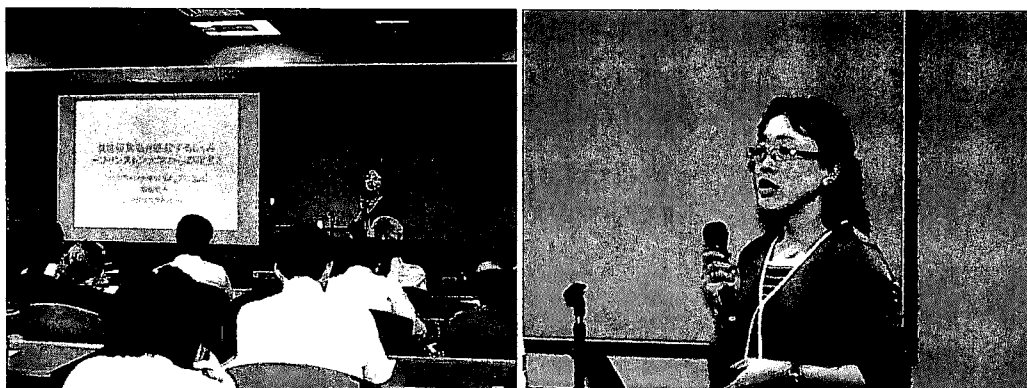
中村学長のあいさつの後、3月に引き続きプリンストン大学の柴田智子先生が講師となって、プリンストン、ハーバードといったアメリカの大学における女性研究者の実情や各種支援策が豊富なデータに基づいて紹介されました。

プリンストン大学の学生や学外の女性支援団体関係者も含めた約40名の参加者はアメリカ研究

者社会の意外な一面に驚いたり多彩な施策に感心しました。講演後には支援財源に関する質問や他国の状況に関する情報提供など、予定時間を越えての活発な意見交換が行われました。

※詳しくはこちらへ↓

<http://cdl.w3.kanazawa-u.ac.jp/action/index.html>



育児支援事業「里山 KIDS ROOM」を開催

2009年8月5日

8月5日「先生と一緒に角間の里山で生物・植物を観察しよう！！～夏休み里山 KIDS ROOM～」を開催し、本学教職員の小学校高学年の児童15名が参加しました。

理工学域自然システム学類の都野展子准教授が講師となって、午前中は角間の里山の竹林と水田(キタダン)でいろいろな生物を採集し、午後は創立五十周年記念館「角間の里」で採集した生物を顕微鏡で観察・スケッチしたり、採集した蚊の幼虫など、昆虫の分類をしたりしました。

最後に、班ごとに採集した生物の報告と、ひとりずつ最も印象に残った生物の発表がありました。参加者にとっては、これまでと違った視点で自然に対する興味を持つことができた、いい夏の思い出になったようでした。

※詳しくはこちらへ↓

<http://cdl.w3.kanazawa-u.ac.jp/ikuji/index.html#kids>



ミニ講演「理系女子の明るいミライ:理工系女性研究者の実態と理系選択支援」を開催

2009年9月13日

9月13日(日)サテライト・プラザにてミニ講演「理系女子の明るいミライ:理工系女性研究者の実態と理系選択支援」を開催しました。

講師の環日本海域環境研究センター長谷部徳子准教授は、日本の女性研究者の割合が諸外国に比して12.4%と低く、国によって数々の対策がとられていることを紹介し、この傾向の著しい理工系女性研究者の現状について解説しました。

イノベーション創出のため、多様な人材が求められています。女子中高生に科学技術に触れる機会をより多く提供し、理系選択を支援すべきだ、と主張しました。



公開講座「自分らしさ発見・再発見—男女ともに生きやすい社会をめざして—」を開催

2009年11月7-28日

公開講座「自分らしさ発見・再発見—男女ともに生きやすい社会をめざして—」の第一回講座が11月7日に開講されました。

この公開講座は全3回行われ、男性も女性も共に尊重し協力しながら生きる社会を実現するための方法や、他の人と協力しあって行くためのコミュニケーションについて実践的に学習するものです。

「自分らしさ」を発揮して他の人と共に生きることのできる社会は、望ましい社会であると言えます。会場では、みんなで活発な意見交換が行われていました。

第2回、第3回の予定については[こちら](#)をご覧ください。



「第2回金沢大学女性研究者支援シンポジウム」を開催

2009年11月9日

11月9日、「第2回金沢大学女性研究者支援シンポジウム 女性研究者のキャリア継続 ～社会・制度・パートナーの役割～」が開催されました。

日本におけるジェンダー学の先駆者である東京大学の上野千鶴子教授が女性研究者の生存戦略について、内閣府男女共同参画局の大西知子企画官が国の男女共同参画の方針についてそれぞれ講演し、女性研究者のパートナーである本学教員の古畑徹教授、坂本敏夫准教授からは、パートナーの役割についてショートレポートがありました。

会場をいっぱい埋めた学内外からの約150名の参加者にとっては、女性研究者をとりまく環境について理解を深めるとともに、大学における男女共同参画を推進するための今後の支援策の在り方について考える機会となったようでした。

なお、一部のシンポジウム講演資料については相談により提供できる場合があります。ご希望の方は、金沢大学男女共同参画キャリアデザインラボラトリーまでご連絡ください。

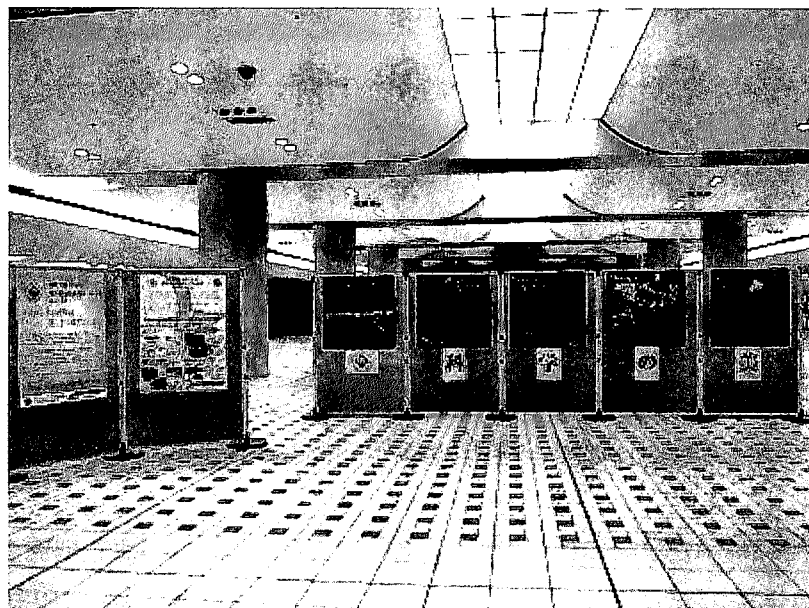


女性研究者の研究紹介ポスター展を開催

2010年1月15日-31日

金沢大学男女共同参画キャリアデザインラボラトリーでは、1月15日～31日、金沢駅もてなしドーム地下広場にて、理工系女性研究者の研究を紹介するポスター展を開催しました。

ポスター展では、広く一般の方々に理工学への興味を深め、女性の理系分野進出を促すために、女性研究者および女子学生20名が研究でとらえた「美の一瞬」を展示しました。



学士 学生数

単位:人

()は女子学生数

平成21年5月1日現在

*は女子学生の比率を示す

学域 学部	学類・学科・課程	定員	在籍者数						計
			1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次	
人間社会学域	人文学類	145	151 (91)	153 (93)	-	-	-	-	304 (184)
	法学類	170	174 (72)	174 (61)	-	-	-	-	348(133)
	経済学類	185	199 (63)	194 (56)	-	-	-	-	393 (119)
	学校教育学類	100	106 (64)	107 (71)	-	-	-	-	213 (135)
	地域創造学類	80	85 (45)	82 (50)	-	-	-	-	167 (95)
	国際学類	70	78 (56)	81 (53)	-	-	-	-	159 (109)
	計	750	793 (391)	791 (384)	-	-	-	-	1,584 (775) *48.9%
理工学域	数物科学類	84	90 (13)	96 (11)	-	-	-	-	186 (24)
	物質化学類	81	87 (20)	89 (23)	-	-	-	-	176 (43)
	機械工学類	140	152 (4)	147 (5)	-	-	-	-	299 (9)
	電子情報学類	108	122 (9)	122 (7)	-	-	-	-	244 (16)
	環境デザイン学類	74	84 (18)	81 (14)	-	-	-	-	165 (32)
	自然システム学類	102	109 (36)	113 (32)	-	-	-	-	222 (68)
	計	589	644 (100)	648 (92)	-	-	-	-	1,292 (192) *14.9%
医薬保健	医学類	105	105(24)	94 (17)	-	-	-	-	199(41)
	薬学類・創薬科学類	75	76 (32)	78 (37)	-	-	-	-	154(69)
	保健学類	200	203 (147)	203 (161)	-	-	-	-	406(308)
	計	380	384 (203)	375 (215)	-	-	-	-	759 (418) *55.1%
文学部	人間学科	-	-	-	60 (42)	67 (47)	-	-	127 (89)
	史学科	-	-	-	51 (26)	74 (26)	-	-	125 (52)
	文学科	-	-	-	70 (58)	84 (59)	-	-	154 (117)
	計	-	-	-	181(126)	225 (132)	-	-	406 (258) *63.5%
教育学部	学校教育教員養成課程	-	-	-	88 (46)	122 (59)	-	-	210 (105)
	障害児教育教員養成課	-	-	-	22 (17)	24 (21)	-	-	46 (38)
	人間環境課程	-	-	-	67 (48)	75 (51)	-	-	142 (99)
	スポーツ科学課程	-	-	-	36 (8)	40 (9)	-	-	76 (17)
	計	-	-	-	213 (119)	261 (140)	-	-	474 (259) *54.8%
法学部	法政学科	-	-	-	192 (81)	238 (91)	-	-	430 (172)
	法学科	-	-	-	-	5 (1)	-	-	5 (1)
	計	-	-	-	192 (81)	243 (92)	-	-	435 (173) *39.8%
経済学部	経済学科	-	-	-	205 (76)	257 (79)	-	-	462 (155)
	計	-	-	-	205 (76)	257 (79)	-	-	462 (155) *33.5%
理学部	数学科	-	-	-	28 (3)	43 (3)	-	-	71 (6)
	物理学科	-	-	-	38 (3)	45 (3)	-	-	83 (6)
	化学科	-	-	-	37 (8)	46 (8)	-	-	83 (16)
	生物学科	-	-	-	26 (9)	36 (14)	-	-	62 (23)
	地球学科	-	-	-	31 (10)	37 (5)	-	-	68 (15)
	計算科学科	-	-	-	34 (6)	38 (11)	-	-	72 (17)
	計	-	-	-	194 (39)	245 (44)	-	-	439 (83) *18.9%
医学部	医学科	-	-	9 (0)	97 (16)	99 (21)	110 (22)	99 (20)	414 (79)
	保健学科	-	-	-	220 (157)	245 (180)	-	-	465 (337)
	計	-	-	9 (0)	317 (173)	344 (201)	101 (22)	99 (20)	879 (416) *47.3%
薬学部	総合薬学科	-	-	-	-	6 (3)	-	-	6 (3)
	薬学科・創薬科学科	-	-	-	76 (28)	-	-	-	76 (28)
	薬学科	-	-	-	-	38 (28)	-	-	38 (28)
	創薬科学科	-	-	-	-	42 (11)	-	-	42 (11)
	計	-	-	-	76 (28)	86 (42)	-	-	162 (70) *43.2%
工学部	土木建設工学科	-	-	-	86 (18)	111 (17)	-	-	197 (35)
	機能機械工学科	-	-	-	88 (2)	113 (0)	-	-	201 (2)
	物質化学工学科	-	-	-	95 (24)	117 (15)	-	-	212 (39)
	電気電子システム工学科	-	-	-	66 (3)	74 (3)	-	-	140 (6)
	人間・機械工学科	-	-	-	86 (5)	104 (7)	-	-	190 (12)
	情報システム工学科	-	-	-	74 (4)	87 (4)	-	-	161 (8)
	計	-	-	-	495 (56)	606 (46)	-	-	1,101 (102) *9.3%
合計		1,719	1,821 (694)	1,823 (691)	1,873 (698)	2,267 (776)	110 (22)	99 (20)	7,993 (2,901) *36.3%

大学院 修士課程(博士前期課程を含む) 学生数

単位:人
平成21年5月1日現在

()は女子学生数
*は女子学生の比率を示す

研究科	専攻名	定員	在籍者数		
			1年次	2年次	計
教育学研究科	学校教育専攻			10(5)	10(5)
	国語教育専攻			4(4)	4(4)
	社会科教育専攻			5(1)	5(1)
	数学教育専攻			3(0)	3(0)
	理科教育専攻			0(0)	0(0)
	音楽教育専攻			1(1)	1(1)
	美術教育専攻			3(1)	3(1)
	保健体育専攻			5(0)	5(0)
	技術教育専攻			6(0)	6(0)
	家政教育専攻			1(1)	1(1)
	英語教育専攻			3(2)	3(2)
	障害児教育専攻			1(1)	1(1)
	教育実践高度化専攻	35	21(9)		21(9)
	計	55	21(9)	42(16)	63(25) *39.7%
	経済学研究科	経済学専攻	-	-	1(0)
計		-	-	1(0)	1(0) *0%
人間社会環境研究科	人間文化専攻	25	18(9)	32(16)	50(25)
	社会システム専攻	18	12(5)	12(4)	24(9)
	公共経営政策専攻	12	11(5)	15(6)	26(11)
	計	55	41(19)	59(26)	100(45) *45.0%
医学系研究科	医科学専攻	15	17(5)	24(8)	41(13)
	保健学専攻	70	64(27)	92(38)	156(65)
	計	85	81(32)	116(46)	197(78) *39.6%
自然科学研究科	数物科学専攻	56	48(2)	64(4)	112(6)
	電子情報工学専攻	67	91(8)	81(5)	172(13)
	機能機械科学専攻	51	64(1)	70(2)	134(3)
	人間・機械科学専攻	40	50(5)	45(2)	95(7)
	物質化学専攻	26	36(5)	25(6)	61(11)
	物質工学専攻	53	70(13)	61(12)	131(25)
	地球環境学専攻	19	15(7)	14(4)	29(11)
	社会基盤工学専攻	48	34(2)	31(0)	65(2)
	生物学専攻	17	14(3)	18(3)	32(6)
	生命薬学専攻	48	66(27)	68(19)	134(46)
	医療薬学専攻	16	8(3)	11(6)	19(9)
	計	441	496(76)	488(63)	984(139) *14.1%
合計	616	639(136)	706(151)	1,345(287) *21.3%	

大学院 博士(後期)課程 学生数

単位:人
平成21年5月1日現在

()は女子学生数
*は女子学生の比率を示す

研究科	専攻名	定員	在籍者数				
			1年次	2年次	3年次	4年次	計
医学系研究科	脳医科学専攻	20	2(1)	14(6)	6(5)	23(3)	45(15)
	がん医科学専攻	26	16(3)	18(4)	15(6)	102(17)	151(30)
	循環医科学専攻	22	8(3)	19(3)	12(4)	83(28)	122(38)
	環境医科学専攻	12	6(4)	14(4)	14(6)	15(4)	49(18)
	保健学専攻	25	25(10)	34(17)	74(38)	-	133(65)
	内科系専攻	-	-	-	-	23(3)	23(3)
	外科系専攻	-	-	-	-	24(1)	24(1)
	計	105	57(21)	99(34)	121(59)	270(56)	547(170) *31.1%
社会環境科学研究科	地域社会環境学専攻	-	-	-	7(4)	-	7(4)
	国際社会環境学専攻	-	-	-	8(0)	-	8(0)
	計	-	-	-	15(4)	-	15(4) *26.7%
人間社会環境研究科	人間社会環境学専攻	12	13(6)	15(8)	20(11)	-	48(25)
	計	12	13(6)	15(8)	20(11)	-	48(25) *52.1%
自然科学研究科	数物科学専攻	13	5(1)	7(0)	16(3)	-	28(4)
	電子情報科学専攻	15	5(1)	5(0)	20(0)	-	30(1)
	システム創成科学専攻	21	10(2)	8(1)	24(2)	-	42(5)
	物質科学専攻	17	8(1)	6(0)	16(2)	-	30(3)
	環境科学専攻	22	18(2)	17(2)	29(6)	-	64(10)
	生命科学専攻	30	24(8)	21(6)	51(8)	-	96(22)
	物質構造科学専攻	-	-	-	1(0)	-	1(0)
	機能開発科学専攻	-	-	-	1(0)	-	1(0)
	生命科学専攻	-	-	-	1(0)	-	1(0)
	システム創成科学専攻	-	-	-	2(1)	-	2(1)
	数理情報科学専攻	-	-	-	1(0)	-	1(0)
	計	118	70(15)	64(9)	162(22)	-	296(46) *15.5%
合計		235	140(42)	178(51)	318(96)	270(56)	906(245) *27.0%

学生数(その他)

単位:人
平成21年5月1日現在

()は女子学生数
*は女子学生の比率を示す

専門職学位課程

研究科	専攻名	定員	在籍者数			
			1年次	2年次	3年次	計
法務研究科	法務専攻	40	26(12)	47(9)	31(11)	104(32) *30.8%

別科

別科	入学定員	在籍者数
養護教諭特別 別科(1年制)	40	36(35) *97.2%

科目等履修生・研究生等

区分	在籍者数		
	科目等 履修生	研究生等	計
学部	25(10)	12(9)	37(19)
大学院	4(2)	65(25)	69(27)
がん研究所	-	0(0)	0(0)
留学生セン ター	2(2)	43(20)	45(22)
合計	31(14)	120(54)	151(68) *45.0%

職員数

単位:人
平成21年5月1日現在

区分	役員	教育研究職員								事務職員	技術職員	合計
		教授	准教授	講師	助教	助手	計	特任教員	教諭 養護 教諭			
役員	9						0					9
人間社会研究域		149	80	6	1	3	236	1				237
理工研究域		109	70	26	48	4	257	4			32	293
医薬保健研究域		92	81	15	83	1	271	3			19	293
大学院自然科学研究科							0	4				4
大学院医学系研究科							0	10				10
附属病院		3	12	40	77		132	12			810	954
がん研究所		11	5		17		33					33
地域連携推進センター		1					1	3				4
学際科学実験センター		2	3		3		8				5	13
総合メディア基盤センター		3	2		2		7					7
イノベーション創成センター		2	1				3	1				4
留学生センター		5	4				9					9
外国語教育研究センター		6	11				17					17
環日本海域環境研究センター		8	4		6		18				2	20
大学教育開発・支援センター		3	2				5	3				8
環境保全センター			2		1		3					3
子どものこころの発達研究センター							0	6				6
保健管理センター		1	3	2	2		8				3	11
フロンティアサイエンス機構							0	10				10
男女共同参画キャリアデザインラボラトリー							0	2				2
附属学校							0		109			109
事務局							0			401	46	447
合計	9	392	280	89	240	7	1,008	59	109	401	917	2,503

編集後記

・松並 知子（プロジェクトオフィサー・特任准教授）

この事業に携わって 1 年半が過ぎました。女性研究者を支援し働きやすい環境をつくるためには、どのような施策が有効なのか、試行錯誤の毎日です。大学の状況や皆さまのご意見なども少しずつ理解できるようになってきました。今後は、これまでに集めた情報を反映した事業が展開できればと思っています。これからもご協力ご支援をお願いします。

・糸野 妙子（プロジェクトオフィサー・特任助教）

皆さまのご協力のおかげで、平成 21 年度、本書に掲載した取組みを行うことができました。最終年度となる次年度は、これまでの取組みや経験を生かして、働きやすい環境づくりに取り組んでまいります。今後とも、率直なご意見やご要望をお聞かせいただければ幸いです。どうぞよろしく願いいたします。

・瀧本 奈々（事務補佐員）

昨年の 11 月よりキャリアデザインラボラトリーの一員となり働かせてもらっています。私自身、不慣れなことが多く毎日が勉強のような日々ですが、みなさんにとってよい環境作りができるよう、努力していきたいと思えます。宜しく願いいたします。

男女共同参画キャリアデザインラボラトリー紹介

当ラボラトリーのオフィスは、角間キャンパス南地区自然科学本館 1 階、191 号室（自然科学系図書館付近）に位置しています。人材サロン WIL と称し、学生向けのキャリアカウンセリングや茶話会、各種セミナーの実施、女性向けの書籍や DVD の貸出などを実施していますので、お気軽に遊びにきてください。書籍のリストはホームページにも掲載しています。

電話：076-234-6905～7

FAX：076-234-6908

E-Mail：cd_lab@adm.kanazawa-u.ac.jp

ホームページ：http://cdl.w3.kanazawa-u.ac.jp